

定山溪天狗岳東尾根・中央クロアール（利尻プレ）

メンバー：栗山さん、田中さん、濱田

4月20日

入山口に着いたが、私のヘルメット忘れが発覚。栗山さんの御家に戻って、お借りする。すみません。アプローチはスキーだが、ディアミールの調子が悪く、友人のジルブレッタを借りて行く。しかし横解放値が低くちょっと困った。尾根取り付きで、シーデポ。

天候は、時折晴れ間も見えていたが、急に吹雪となった。悪い時はまるで真冬のように。東尾根の取り付き前の沢型は硬いデブリでいっぱい。この日は上から雪崩が来そうな感じはしなかったが、怖い時は行きたくない。我々はその沢型までは尾根を詰めたが、先行パーティーは沢型をずっと詰めていったようだった。

東尾根は、懸垂入れて計10ピッチで頂上についた。

1ピッチ目、岩と草付き。プロテクションがとりづらいが、斜度は緩め。

2ピッチ目、中盤から灌木掴んで登るが、結構怖い。

3ピッチ目、露岩を慎重に登る。残地ロープがあるところが全体的に見ても核心で、A0で頑張って登る。

4ピッチ目、ナイフリッジ歩き。雪底は小さいが注意は必要。5ピッチ目も同様。

6ピッチ目、太めの稜線を歩き、懸垂地点まで。

7ピッチ目、ハングしている雪壁を懸垂で降りる。ここで先行Pに追いつくが、以後は会わなかった。

8ピッチ目、Bushの生えた雪壁を上る灌木まで。Topはスタンディングアックスビレイで確保。

9ピッチ目、灌木生えた尾根を、細い尾根まで登る。

10ピッチ目、細い尾根を歩き頂上まで。もしかしたらあと1ピッチあったかもしれない。

メット忘れて1時間ほどロスしたが、7時過ぎに出て、頂上は予定通り16時着。このころになるとガスが晴れ出し、辺り一面見渡せるようになる。So good!

テン場では栗山さんと装備話で盛り上がる。秀セールで買いたいものが色々増えてしまった…。

4月21日

田中さんが中央クロアール取り付きに来る時間を見計らってテントをたたむ。外は快晴で、羊蹄、無意根、余市も見えれば、反対側には増毛の山々も見える。朝で雪は縮まっており、中央ルンゼは快適に下る。そしてドンピシャで田中さんと合流。

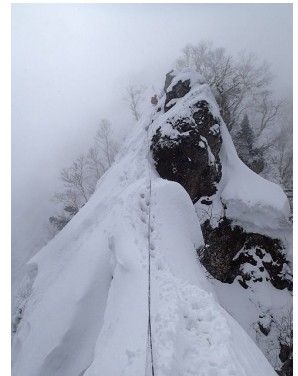
中央クロアールの3ピッチは、全部私がリードさせていただく。どのピッチも、核心となる箇所があるが、特に2ピッチ目のプロテクションは残地頼みで行かないと怖かった。核心前でダブルロープが交互完全にねじれ、きめたトライカムが落ちたので、その点は反省である。

予定ではそのまま尾根を詰めて頂上まで行くつもりだったが、上のBushを見て私は早々に萎えてしまった。1ピッチでBushが薄くなり、尾根歩きとなるが、雪はほとんどない。結局左クロアールの抜け口手前で斜面を少し下り、樺で懸垂した。下山へ。

尻滑りしたのは私だけ。下りのスキーでシールを外したがために悶絶。沢に落ちなくて良かった。

感想：久しぶりの山、晴れて登れて、充実した週末でした！

文章：濱田



5ピッチ目

